

立川第五中学校整備基本計画策定に向けた説明会での意見要旨

日時	会場	参加者	発言者	意見提出者 (アンケート)
令和5年1月13日(金) 19:00~20:15	立川第五中学校 格技室	9名	4名	6名
令和5年1月14日(土) 10:00~10:50		6名	2名	4名
計		15名	6名	10名

1. 主なご意見（重複する意見はまとめています。）

●工事の進め方・スケジュールについて

意見

令和7年度入学予定の子の保護者です。在学中全期間が工事期間になる予定ですが、教育環境にどのような影響がありますか。最後の1年間は、新校舎で過ごしながら、既存校舎を解体する時期になるのでしょうか。

回答

スケジュールは変更となる可能性もありますが、教育活動への影響を最小限にすることは重要であると考えています。工事中も運動場スペースを確保するために建替え手順や配置を検討しています。体育の授業は学校内で実施し、部活動は近隣の小・中学校の校庭や市営又は民間のスポーツ施設の利用を検討しています。

これまでも小学校の建替えなどは行ってきましたが、中学校の建替えは立川市では初めてです。部活動を含めて小学校とは異なる検討事項があるため、条件を整理し、完成時期を含めて、保護者や地域住民に丁寧に説明していきます。

意見

在学期間が建替えと重なる生徒の保護者には、どのように建替えのお知らせをするのでしょうか。中学校に入学する前にお知らせの機会がありますか。

回答

立川第五中学校の通学区域の小学校（第九小学校・大山小学校・上砂川小学校）の児童の保護者へ、学校を通じて本説明会のお知らせを配付しました。特に、現在の小学校4年生は、中学校で在学中の全期間が工事期間となる計画のため、強調してお知らせするよう学校に依頼しました。お知らせの方法については引き続き、検討していきます。

意見

令和10年度に完成するのでしょうか。

回答

令和3年3月に策定した前期施設整備計画整備順序方針では、令和9年度まで工事を実施するスケジュールですが、詳細な建替え手順などを考慮してスケジュールを精査しています。精査したスケジュールについては、令和5年3月の市議会で整備基本計画（案）を報告し、その後、市長決定したうえで、ホームページなどでお知らせしたいと考えています。

意見

詳細が決まってから説明会があるのでしょうか。

回答

設計、工事等のそれぞれ検討段階で説明会を開催していきたいと考えています。

意見

仮設校舎への移動を避けるために、既存校舎を使いながら工事を進めるのでしょうか。

回答

敷地内に仮設校舎を建設すると校庭が使用できなくなってしまうため、仮設校舎を建設しないで建替えることを想定しています。建替え手順としては、初めに、敷地南側に新体育館を建設し、新体育館へ既存体育館の物品を移動させた後、既存体育館を解体します。次に、既存体育館の跡地である敷地西側に新校舎を建設します。新校舎へ既存校舎の物品を移動させた後、既存校舎を解体します。最終工程として校庭を整備しますが、校庭全面を一度に整備するのではなく、授業等で校庭の一部が使用できるように二段階で整備します。工事のどの段階でも体育館と校庭の一部が使用できるように工夫する計画です。

意見

工事期間中、生徒は運動や部活動ができないのでしょうか。火災のあった立川第七中学校でも施設を借りるのは大変だと聞いています。新しい体育館は立派な体育館になると期待していますが、立川第五中学校の工事中には、運動施設を優先して借りられるように検討してください。

回答

工事期間中も校庭に一定程度の運動場スペースを確保する計画です。体育の授業はこの運動場スペース及び体育館で行い、部活動については、近隣の小・中学校の校庭や市営又は民間のスポーツ施設の利用を検討しています。

火災のあった立川第七中学校では新しい体育館を設計中ですが、空調や明るさなどの機能については最新のものを導入していきます。立川第七中学校をベースに立川第五中学校も使いやすい施設を整備していきたいと考えています。

立川第一中学校の校庭整備の工事では、近隣の第一小学校の校庭を借りるなどして対応しました。立川第五中学校でも同様に対応していきたいと考えています。

意見

事業手法を検討していますが、学校施設について PFI 手法で整備した事例はあるのでしょうか。PFI 手法以外でも、整備基本計画の一部に民間のアイデアを生かすなど、民間活力を部分的に活用する方法もあると思います。

回答

立川市の学校施設では実績はありませんが、他の自治体では運營業務を含む複合施設などで整備事例があります。東京都 26 市内では調布市が PFI 手法で学校施設を整備した実績があります。

●建替え後の校舎や校庭等について

意見

新設した建物を何年使う予定でしょうか。何十年も使う建物なので、低予算で建設することを第一に考えるのではなく、学校や教員の意見を聞き、十分な予算をかけて質の良い学校を建設してください。

回答

効率的な整備に努めていますが、教育的な配慮をしたうえで、予算を確保して建設します。

意見

12mの高さ制限があるので、4階建てにはしないのでしょうか。

回答

天井内や床下に設備機器の設置や配線の収納をする必要もあり、整備基本計画の検討では4階建ては難しいと判断し、3階建ての計画になっています。

意見

床面積を減らす必要はあっても、教室の広さは確保してください。アンケートの意見でも広い教室の要望があり、タブレットPCの利用や学習道具の収納、感染症対策の観点からも狭い空間に生徒を押し込めないよう配慮してください。

回答

令和3年度に策定した立川市学校施設標準仕様では中学校の普通教室は72㎡を標準としています。整備後の普通教室の面積は、現状の面積より広がる計画です。増築を繰り返すことで生じた渡り廊下などの共用スペースを削減することで、建物全体の3%の削減は可能であると考えています。

意見

校庭は現状より広がるのでしょうか。生徒の運動が制限されないように、校庭は広い方が良く考えています。

回答

配置案に基づいて試算すると、現状と同等もしくは若干広がる見込みです。また、現状と同じ200mトラックを確保する計画です。

意見

正門はどこに設置しますか。

回答

整備基本計画の検討段階では正門の位置は決まっていますが、配置案の場合は、現状の正門より南側に設置することを想定しています。設計段階で詳細を決定します。

意見

若葉台小学校の北側は塀がなく、広場になっています。セキュリティの考え方は各学校が決めるのでしょうか。教育委員会が統一的に決めるのでしょうか。

回答

旧けやき台小学校では北側の入り口にスペースがなく、交通量の多い道路に接していて危険であるという課題がありました。若葉台小学校の新校舎建設にあたっては、学校・教育委員会・設計者等が協議して解決方法を決定しました。立川第五中学校についても、塀でセキュリティを確保するのか、建物でセキュリティを確保するのか、設計段階で詳細を決定します。

意見

若葉台小学校の北側広場は地域の人の憩いの場にもなって、良い整備事例だと思いますが、立川第五中学校でも同じような空間を整備するのでしょうか。若葉台小学校とは条件が異なるため難しいのでしょうか。

回答

広場を整備すると、他の用途で使える空間が小さくなってしまうため、同じように整備できるかは決まっています。設計段階で詳細を決定します。

意見

敷地の西側に校舎を配置する計画ですが、残堀川側の歩道は、特に夜間は真っ暗で死角となります。フェンスを高くしてセキュリティを高めてください。

回答

セキュリティは重要であると認識しています。防犯カメラなど外部からの侵入を防ぐ対策を検討します。

意見

ソーラーパネルの設置など屋上の利用について計画がありますか。

回答

校庭内の緑地が足りない場合は屋上緑化を検討します。また、立川市の方針として新築建築物には原則ソーラーパネルを導入することとしているので、屋上にソーラーパネルを設置する計画です。

意見

アンケートでは、夏涼しく冬暖かい学校の要望が出ていました。どのような方法で省エネルギーを実現するのですか。学校は災害時に避難所となるため災害時の自家発電について、新清掃工場の余剰電力を活用できるようなしくみを検討してほしいです。

回答

現時点での立川市の考えとしましては、新築建築物には原則ソーラーパネルを導入すること、40%以上の省エネ性能とすることとしています。省エネ性能の高い空調機、高効率の設備や自然換気を導入し、エネルギーをなるべく使わない方法を検討します。災害時の電力確保については重要な課題であると認識しています。

●周辺環境、道路、安全対策について**意見**

道路は整備しますか。安全面を考えて道路を拡幅してほしいですが、校庭が狭くならないように配慮してください。

回答

東側の市道は法令上セットバックが必要なため、校庭側に約1.25m後退して整備します。なお、セットバックしても、校庭は現状と同等もしくは若干広くなる見込みです。

意見

東側の市道をセットバックした後には樹木等を復旧させてください。桜の木など大事な物を残してください。

回答

セットバック時に防球ネットや樹木は一度撤去が必要となりますが、必要な緑地面積を確保するために改めて整備します。樹木は老朽化していて危険な場合もあるため、移植などの対応については慎重に判断します。

意見

工事車両の進入ルートは南側ですか。

回答

設計段階で詳細を決定しますが、現時点の配置案では、新体育館建設予定地の北側にバリケードを設置して工事エリアを区画し、工事エリアに接する道から工事車両の進入を考えています。なお、工事車両の出入口には交通誘導員を配置するなどして、生徒や近隣住民等の安全を第一に工事を行います。

●防災の観点について**意見**

立川第五中学校は防災の拠点となるため、消防車や救急車が敷地内へスムーズに入れるように門や周辺道路も整備してください。

回答

緊急車両が通行できるように門などの間口については配慮します。また、学校敷地に接する道路部分は今回の建替え工事に合わせて整備を検討しますが、それ以外の周辺道路を本事業で整備することは難しいと考えています。

意見

学校は災害時には避難所となるため、地域住民の安全に配慮して整備してください。

回答

一次避難所として必要な整備をします。

意見

避難所開設時にマンホールトイレを設営するため、地域の自治会にマンホールトイレの個数と場所を知らせてください。

回答

中学校ではマンホールトイレを10基整備する予定です。体育館が避難所の中心になるため、体育館に近接した場所に防災備蓄倉庫を配置する計画です。マンホールトイレの位置は体育館との位置関係などを考慮し、設計段階で詳細を決定します。

2. 提出意見（アンケート）（同様の意見はまとめています。）**●工事の進め方やスケジュールについて**

- ▶ 令和7年度入学予定の子の保護者ですが、在学中全期間が工事期間となり不安に感じています。せめて令和9年度（中学3年次）に新校舎に移れると助かります。
- ▶ 工事期間中は近隣小学校の利用を検討しているとのことでしたが、小学校にはテニスコートなどはないので、市営のテニスコートや運動場を優先的に使えるように配慮をお願いします。

●工事中の教育活動への影響について

- ▶ 工事期間中はトラックの出入り等が多いと思うので、生徒が安全に過ごせるように配慮をお願いします。工事期間中をどのように過ごすのか不安に思う子どもたちや保護者が多いと思うので、今回のような説明をしていただけたらありがたいです。
- ▶ 工事中は校庭をどのように利用するのでしょうか。
- ▶ 工事の騒音などで授業に影響が出ないようにしてください。
- ▶ 教育活動等になるべく影響がないようにしてください。

●建替え後の校舎や校庭等について

- ▶安全・安心な学校。
- ▶未来の子どもたちの生涯の学び舎になるように、十分な予算を投資して削らないでください。
- ▶地域に開かれた学校とするために、生徒・職員の意見を生かしてください。
- ▶地域の意見も大事ですが、教育現場に関わる教員の意見も聞いてください。
- ▶引き続き、子どもたち、地域、関係者の声をよく聞きながら進めてください。
- ▶素晴らしい学校の誕生を心待ちにしております。

●防災の観点について

- ▶防災拠点となるため、消防車両が入るように入口を広くしてください。
- ▶マンホールトイレの場所を地域住民に知らせてください。

●説明会について

- ▶建替えることは知っていましたが、本日の説明会に参加できて良かったです。近隣住民の中では話題に上っていません。高齢住民が増え、関心が少ないように感じます。
- ▶大変良い説明会でした。もう少し多くの方に聞いてほしいと思いました。
- ▶詳細が決まった時に説明会を開いてください。

【出席者の属性】

中学校との関係	1月13日(金)	1月14日(土)
立川第五中学校生徒の保護者	1名	1名
立川第五中学校に入学予定の子ども保護者	0名	3名
保護者以外で砂川町、上砂町又は一番町在住者	6名	3名
その他	2名	0名
計	9名	7名

※1月14日(土)は複数回答があったため、合計人数がアンケート提出数を超えています。

住所	1月13日(金)	1月14日(土)
砂川町	2名	2名
上砂町	4名	3名
一番町	1名	1名
砂川町、上砂町又は一番町以外で立川市内	2名	0名
立川市外	0名	0名
計	9名	6名